

# 吾れ憧れし

(昭和三十三年寮歌)

佐伯政英君 作歌  
佐藤一正君 作曲

## 一

吾れ憧れし美の国の  
春は名のみの春なれど  
雪解の水に甦る  
野面に充ち満つ生命あり

## 二

遠くふるさと離れ来し  
寮友と睦の杯酌めば  
今日も手稲山に夕映えて  
鐘声はろかに快よし

## 三

楡の木蔭に憩せば  
紫紺の峰をこえゆきて  
父母いかに君いかに  
つきるを知らぬ吾が懐い

## 四

ただ茫漠の太平洋  
静寂の夜は更けゆきて  
囲む焚火も暗に消え  
夜空彩る北斗星